

Vories  
cure&care

病院ホームページアドレス  
<http://www.vories.or.jp/>



ヴォーリス  
だより

2016年（平成28年）9月1日 第111号

発行 毎月 1日  
発行者  
ヴォーリス記念病院  
三ッ浪 健一  
近江八幡市北之庄町492  
TEL (0748) 32-5211  
印刷  
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

## 『衛生委員会の活動について』



診療技術部長・薬局長 古武 まゆみ

今年も、暑かった夏から秋に移り行く9月となりました。皆さま、暑い中お変わりなかったでしょうか？

今回は事業所において衛生管理者、産業医の関与のもと、安全衛生活動を行っている衛生委員会の業務についてご紹介いたします。当院の衛生委員会は、「職場における安全衛生、および職員の健康をはかる」を目標に取り組んでいます。衛生委員会では、職業感染を防止するため各種ワクチン接種の実施計画、院内感染防止対策委員会と合同での職場巡視、結核等感染症の発生があった場合に行う感染症検診、昨年より各事業所に義務化されたメンタルヘルスに関わるストレスチェック。また、放射線科・検査科・外来・医局・健診室に協力を願い職員健診を自前で実施しています。

本年6月、労働安全衛生法が改正になり一定の化学物質にリスクアセスメントの実施が義務化されました。これは、事業者および労働者が化学物質の危険有害性を認識し、事業者がリスクに基づく必要な措置を検討・実施する仕組みです。衛生委員会では、法律で提示された640の化学物質のうち当院で使用する物質を洗い出し、それらの有害性・危険性をSDS（安全データシート）により特定いたしました。当院では、組織固定用ホルマリンとガス滅菌用エチレンオキシドガスが対象となります。その他に薬剤師が混注している抗がん剤も危険物質ですが、医薬品として一般消費とされる化学物質は対象にはなりません。尚、抗がん剤の混注については、すべて閉鎖式器具を用い混注する薬剤師の被ばくを避けています。ホルマリンは、院内での希釈を無くす事により被ばくを避け、組織固定処理時対応は使用頻度が少ないですが「病理学会 ホルムアルデヒドの健康障害防止」を参考にいたしました。エチレンオキシドガスについては、滅菌した医療機器の取出時にガス濃度測定を実施しており、ガスボンベ交換時被ばくを避けるため、「医療現場における滅菌保証のガイドライン2015」を参考に防毒マスクを使用等、リスクアセスメントを行いました。リスクアセスメントは、随時見直しを行い、職場での職員の安全確保に努めたいと考えています。

また、職員健診の結果、再検査通知をしています再検査実施率は30%程度です。職員は医療従事者が多く、検査数値に異常があってもこれくらいなら、忙しいからと再検査を受診しないケースが多いと思われるが、重症化を予防するために再検査受診を勧めています。血液・体液を取り扱う職員に対しては、感染率が高いB型肝炎ワクチン接種を病院負担で実施しています。該当する職種の新入職員に対しては、入職時B型肝炎抗体陰性者にワクチン接種を勧めています。接種希望者は少ないです。B型肝炎抗体陰性者は、初回、1か月後6か月後と3回ワクチン接種が必要です。ワクチンを3回接種すると、殆どの方は抗体が陽性になり針刺しや血液汚染があっても感染防止となります。3回（2回接種の病院もある）接種をしないと抗体価が十分に上がらず、感染するリスクが高い事を自身の身を守るためにも覚えておいて欲しいです。経年後、疑陽性・陰性化した場合はワクチン追加接種により抗体値を上げています。

B型肝炎ワクチン接種の申込みの詳細は、衛生管理者もしくは外来にお問い合わせください。

**敷地内全面禁煙です。  
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

今  
月  
の  
聖  
句

今泣いている人々は幸いである、  
あなたがたは笑うようになる。

新約聖書 ルカによる福音書 6章21節



チャプレン 安部 勉

「今泣いている人々は幸いである」

このイエス様のことばを皆さんはどう受け止めるでしょう。イエス様が思い描いていたのは嬉しくて泣いている人々ではありません。苦しみや希望見出すこと難しい人々、不条理な世の中にあって困難な中にある人々、家族を失った人々を思い語られたのでしょう。今の時代思い描くのが「難民」の方々かもしれません。誰もが故郷で家族と平和に穏やかに暮らしたい。しかし戦乱によって異国へと脱出しなければならぬ。そして安住の地も見つからず、定着しても差別や偏見の目でみられ、社会で安心して暮らすことが難しくなる。難民の方々だけでなく私たちの社会も決して豊かで安定しているとは言えないでしょう。厳しい生活を強いられている方々が年々増えているのも事実です。

日々の生活に希望見いだせず、困難な中であってイエス様の「幸いである」との言葉に反感を覚えることもあるでしょう。それは8月号「今月の聖句」で説明した「貧しい人々は、幸いである」にも言えるでしょう。

ルカによる福音書ではイエス様が「幸いである」と語った後、「今、笑っている人は不幸である、あなたがたは悲しみ泣くようになる」と言われます。この世で富があり安定した暮らしの中にある人に向かって「不幸である」と言うのです。

私たちの思いからするならば「幸いと不幸が逆転している」としか思えません。しかしイエス様はそう断言されたのです。

お腹いっぱいであること、住むところがあること、笑顔で日々いられること。もしどれも当たり前と思えば「幸い」とは思えません。それ以上に「もっと美味しいものを食べたい」「もっといいところに住みたい」「もっと楽しく過ごしたい」と思いは募る一方ではないでしょうか。たくさん物を持つこと、美味しいものを食べることに、私たちの社会は「まだ幸せではないですよ」と呼びかけるように消費すること、目に見える満足を「買えますよ」と宣伝しています。幸せはお金があれば得られるかのように。

もし物質的に豊かに暮らす中で「もっと欲しい」との思いに囚われているならば「貧しさ」の中にあるとも言えるのかもしれませんが。

イエス様の宣言を通して「しあわせであること」をみつめて頂ければと願います。きっと悲しく、辛い病気や障害を抱え、病院で過ごす日々であってそれまで当たり前であった日々の生活自体が大切で幸せであることに気づかれる方もおられるでしょう。病気になって家族の「思いやり」や多くの方々のお見舞いに「慰め」を感じる方もいるでしょう。そして一刻も早くよくなって日々の生活に戻りたいと願うのが自然なことでしょう。

悲しみの中であって、辛い涙流す中であって幸せであると思える人はいないでしょう。でもその経験がこころの糧となり笑顔に包まれる日が来たならば、悲しみも涙も貴いことに思えることでしょう。慰められたこと、支えられたこと。そして祈られたこと。きっと涙しなければ出会えない財産となることでしょう。

## 在宅サービス部門だより

訪問看護ステーションヴォーリス 藪内良太

まだまだ暑い日が続いていますが、皆さま体調を崩されることなくお過ごしでしょうか。私は訪問看護ステーションヴォーリスで非常勤の理学療法士として働き始めて約二年が経過しました。普段は病院で勤務していることもあり、初めて訪問リハビリに行った時は、設備がない中、一人でリハビリを行うことに大きな戸惑いを感じていました。ただ慣れない環境の中で在宅医療の重要性を感じることも出来ました。今まで私は退院後の生活を想定して目標を設定し、リハビリを行ってきましたが、実際の生活場面を見る機会は少なく、患者様やご家族様からの情報をもとに退院後の生活を想定していることが多

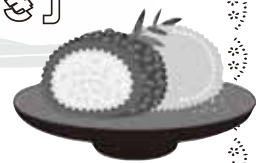
かったと思います。そのため、想定が不十分だった場合、自宅に帰った時に生活に適應するのに時間がかかってしまう、もしくは病院ではできたことが自宅ではできないといったことが起こると考えられます。この適應する手助けをするのに訪問リハビリでは、実際の自宅の環境に合わせたリハビリを提供することで生活に適應することを可能とし、病院から自宅へ繋げられると実感できました。今後も患者様やご家族様のお役に立てるように在宅医療の一員として他職種と連携し、より良い生活を過ごしていただけるように努力していきます。

# ヘルシークッキング 9月

## 炊飯器で簡単おはぎ『おはぎ』



エネルギー 151kcal タンパク質 3.0g 脂質 0.2g (1個分)



### ★材料 (約20個)

- ・もち米 2合
- ・米 1合
- ・砂糖 大さじ1
- ・あんこ 200g

### [A]

- ・きな粉 砂糖と同量
- ・砂糖 きな粉と同量
- ・塩 1つまみ



### ★作り方

1. もち米、お米を合わせてとぎ、炊飯器の3合まで水を入れて砂糖を加え、白米モードで普通に炊きます。
2. 炊き上がったら15分くらい蒸らします。蒸らしたら塩を1つまみ加え、しゃもじで良く混ぜます。
3. [A]を合わせてきな粉を準備し、あんこは30gずつくらい6~7等分して楕円型を平らにします。
4. ラップに2の米を乗せて、楕円形にまとめ、お好みできな粉とあんこをつけて完成です。



お彼岸と言えば「おはぎ」ですね。「ぼたもち」とも呼ばれますが一般的には春のお彼岸も秋のお彼岸も「おはぎ」と言い、お供えしたり食べたりします。しかし、これは正確には違います。「おはぎ」は秋のお彼岸に食べるものであずきの粒をその季節に咲く「萩」に見立てて作られたものです。一方、「ぼたもち」は春のお彼岸に食べるものであずきの粒をその季節に咲く「牡丹」に見立てたものです。従って、春のお彼岸には「ぼたもち」、秋のお彼岸には「おはぎ」、これが正しいお供え物です。ほとんど同じ食べ物ですが違う点が二つあります。

一つは大きさや形です。おはぎは萩の花をかたどって小ぶりで長めに丸めて作られ、ぼたもちは牡丹の花をかたどって丸く大きく豪華に作られたと言われています。

もう一つの違いはあんこの種類です。ぼたもち

はこしあんでおはぎは粒あんのものを指します。これにはあんこの原料である小豆の収穫時期に関係があります。小豆の収穫時期は9月~11月のため秋のお彼岸には収穫したての皮の柔らかい小豆で粒あんでおはぎを作り、春のお彼岸には数か月の保存のために固くなった皮を取り除いたこしあんでぼたもちが作られていたようです。もっとも保存技術の進んだ現代では年中を通して柔らかい皮の小豆は手に入り、おはぎとぼたもちの区別も曖昧なものとなってきました。

しかし、秋のお彼岸とは故人やご先祖様に祈りや感謝を捧げる日。おはぎでもぼたもちでも大切なのは気持ちです。今回は簡単なおはぎの作り方を紹介させて頂きました。形式にこだわらず気持ちを込めて手作りし故人やご先祖様に感謝の祈りを捧げてはいかがでしょうか？



## 健康について

1病棟 高岡 晶子

私は健康についてあまり考えたことはありませんでした。

今までは睡眠を十分に取っていれば、それで健康でいられるだろうと思っていたからです。

しかし、私が健康について考えるようになったのは、たまに朝食を抜いていた結果、よく貧血を起こすようになってからでした。十分な睡眠と規則正しい食生活、あと精神的なストレスを抱えないようにするため適度な気分転換（ショッピングや趣味）等を取り入れることで自分の健康管理については改善されたように思いま

す。今はまだ年齢的にも無理がきき、多少生活自体が乱れても騙し騙しで大きな健康障害を起こしたことはありません。

でも、年齢を重ねるにつれて身体的にかかる負担が直ぐに回復できなくなったり、精神的に係る負担が増加してくることは間違いありません。

私は身体的・精神的に健康的な日常生活を送るために十分な睡眠と規則正しい食生活、精神的ストレスを抱えないように心がけていきたいと思



## 報告1

## リスクマネジメント部会研修会に関して

地域医療課 加藤和幸

医療安全管理は病院にとって重要なテーマです。日々の業務において、インシデント・アクシデントは少なからず発生することがあります。そのため、病院には医療安全管理者の配置が義務付けられており、医療安全に関しての委員会が設置されています。

インシデント・アクシデントとは、患者さんの診療やケアにおいて、本来のあるべき姿からはずれた行為や事態の発生を意味します。

また、患者さんだけでなく訪問者や医療従事者に、傷害の発生した事例や傷害をもたらす可能性があったと考えられる状況も含まれます。

このような経過から、今年度もリスクマネジメント部会研修会を行いました。スタッフ全員参加の研修を6/20、6/29、7/4、7/15の計4回開催しました。今年度の研修内容としては、インシデント・アクシデント年間集計発表、「RCA分析に関して」です。

今年度は、特に「RCA分析」に関して、グループワークを行いました。

## ●RCA分析●

RCA分析（根本原因分析）とは、インシデント・アクシデントに対する症例分析です。出来事流れ図を作成し、なぜこのようなことが起こったのか「なぜなぜ分析」を繰り返し、根本原因を確認していく手法です。根本原因に対してどのような取り組みができるかが、原因解決につながります。

根本原因分析は、インシデント・アクシデントを起こした個人を責めるものではありません。

ヒューマンエラーは誰しもが起こし得ることで

起きてしまった事象に対して、どのような点が問題であったのを検証する場です。

例えば、マニュアルがなかった、現在使用しているルールに問題があるなど、原因をしっかりと追求し探っていく作業です。

医療安全管理者やリスクマネージャーだけが取り組んでいるというわけではなく、病院全体で各スタッフがそれぞれの目線で日々取り組んでいただくことが大切です。安全な医療・療養環境を構築していくため研鑽していきたいと思っております。

## 報告2

## ボランティアの集い 報告

園芸ボランティア 牧直美

さる6月18日（土）、ボランティアの集いが開催されました。

ボランティア20名、病院スタッフ9名の参加でしたが、楽しい一時を過ごさせていただきました。

オリエンテーションでは、7つの各部門で活動されている方々から、その活動内容をご紹介いただき、日頃の交流も少ない中で他の方々の活動について改めて学ばせていただきました。

続く懇親会ではお茶やお菓子をいただきながらのフリートーク。90歳の今もなおボランティアをしておられる方、20数年に渡りボランティアを続けておられる方など、皆様の想い、また病院側スタッフの方々の想いをお聞きし、感銘を受けた次第です。

またボランティアの中にはいろいろな特技をお持ち

ちの方がいらっしゃいます。

“ふなっしー”ならぬ“ふなずっしー”の人形コントで笑わせて下さったり、ピアノのミニコンサートにしみじみと聞き入ったり、最後は全員の合唱で集いが閉められました。

日頃は別々に活動されている皆様が一同に集い、想いを新たにいたしました。また今後の活動に頑張っていこうと思った次第です。



## 報告3

## 平成28年度ボランティアの集いに参加して

医事課 村井美貴

平成28年6月18日（土）に開催されたボランティアの集いに参加させていただきました。

参加させていただくのは今回で4回目になります。

園芸、ホスピス、老健など各担当のボランティアさんが活動内容を詳しく説明してくださり、私達が見えないところでもいろいろなボランティアをいただいで感謝しています。

今回の集いは世話人代表の挨拶から始まり、里ボランティア委員長挨拶、委員及び各担当部署の紹介、ボランティア時間の表彰、新規のボランティアさんの紹介、ボランティア活動内容の紹介・PR、懇親会、活動への想い、ピアノ演奏と1時間半の集いでした。

ボランティア時間の表彰では500時間、300時間、100時間ととても長い時間ボランティアに来ていただいていると知りありがたいと思います。

普段ボランティアの方とはすれ違いにあいさつを

させていただくぐらいなので、こういう集いがあるとゆっくりお話ができるのでとても良い機会だと思います。お話をするだけでなく、一緒に歌を歌ったり、ピアノの演奏だったり、腹話術をされたりととても楽しい集いだったと思います。

今回は新規ボランティアさんのオリエンテーションも一緒にさせていただきましたが、ボランティアさんの協力もあり、楽しくスムーズに行なうことができたと思います。

## 報告4

# ヴォーリス記念病院見学会を終えて

経営企画室 室長 西山洋平

昨今の病院経営において、看護師の確保は重要な経営課題のひとつとして挙げられます。どこの病院も看護師配置基準をクリアするために必死になっています。ヴォーリス記念病院も看護師不足の問題に頭を悩ませていました。そこで、ヴォーリス記念病院の良さを知っていただくために、7月30日に看護学生を対象としたヴォーリス記念病院見学会を開催しました。

参加者は看護学生2名、介護学生1名、医療事務希望者1名の計4名の方々に参加していただきました。

まず、ヴォーリス記念病院について、事務長・看護部長・各担当者より病院の概要や看護部体制、福利厚生について説明させていただきました。その後、学生さん達と一緒に昼食を食べました。昼食会

の席には、各病棟の看護師長や1年目から2年目の先輩看護師、介護福祉士、看護事務補助者の方に同席していただきました。ヴォーリス記念病院の職場環境について、実際に現場で勤務している職員から話をさせていただきました。直接話しを聞いていただくことで、ヴォーリス記念病院の良さを感じただけだと思います。最初は少し固い雰囲気でしたが、先輩看護師さん達が積極的に話をしてくれて、後半はとてもリラックスした雰囲気の昼食会になりました。昼食後は、病院と各病棟を見学していただきました。

見学会に参加していただいた学生さんからは、是非当院に就職したいという希望をいただくことが出来ました。今後もヴォーリス記念病院の良さをアピール出来る病院見学会を企画したいと思います。

## 報告5

# 里のクリーン大作戦 2016

里活性化委員会 酒井英志

7月20日(水)、里のクリーン大作戦を実施致しました。猛暑のなか、多くの職員がたくさんの汗を流しながら病院・老健センター周辺、ホスピス周辺を中心に草刈りや清掃作業を行いました。本当にご苦労様でした。

今後とも里のクリーン化にご協力願えますようによろしくお願い致します。



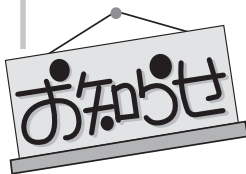
## 報告6

# 第240回 ミュージックタイム



さる2016年7月23日、「第240回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は篠原真紀子さんのピアノと歌の演奏を皆さんと楽しみました。

懐かしい曲を皆さんと歌いながら心暖まる一時でした。

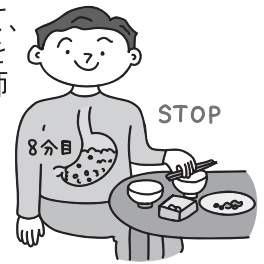


## ▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 9月15日(木) 12:00~13:30 場所 新館研修室(病院内)  
講師 医師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



## 近江八幡市介護予防拠点事業

### ヴォーリス介護予防教室のご案内 (平成28年度)

開催日程表

回	日程	内容	担当・講師
3	9月15日(木) 14:00~16:00	「認知症になってもその人らしい生き方を支える」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵氏
4	11月17日(木) 14:00~16:00	「認知症の予防(運動編)」 (仮)	ヴォーリス記念病院 作業療法士 宮本 優子氏
5	2月23日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X II」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)  
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 3回目9月12日(月)までに往復ハガキで  
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を  
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492  
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで  
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内  
ホームヘルパーステーション  
担当 生駒  
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

## 患者支援センター

介護・入院・施設の入所等で、お困りのことが  
ありましたら、ご連絡下さい。

TEL (0748)32-5211 (代)  
FAX (0748)36-5412 (直)  
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にございます。



## 働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に  
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211(担当:澤谷)

## ヴォーリス記念病院ホスピス希望館 10周年記念講演会

平成28年  
10/23(日)  
開演14:00  
(開場13:00)

会場：G-NETしが  
(近江八幡駅南口から徒歩10分)  
※託児所あり(0歳~未就学児まで)

入場料：500円  
(当日会場で申し受けます)

### ■第1部

- ・コンサート 演奏：室内アンサンブル「ノアノア」
- ・スライド上映「ホスピス希望館10年のあゆみ」

### ■第2部

- ・記念講演  
「ホスピス緩和ケアの原点~支えること、寄りそうこと~」  
演者：淀川キリスト教病院理事長 柏木 哲夫先生
- ・鼎談「ヴォーリスホスピスが取り組むいのちのケア」  
登壇者：柏木哲夫先生、ホスピス長 細井順、看護部長 岡田幸子



柏木 哲夫先生

▶ お申し込みは、FAXでのお申し込みになります。  
受付は9月1日(木)からです。  
当院ホームページからFAX用紙をダウンロードし、必要事項をご記入ください。  
FAX：0748-32-2152  
▶ 又は、FAX申し込み用紙が病院にございます。  
<お問い合わせ> TEL：0748-32-5211(代表)  
担当：西山  
(ホスピス開設10周年記念講演会実行委員会)

## メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中

あなたの健康づくりをサポート  
元気な方は体力づくり 病後の方は体力回復  
沢山の方がご利用されています。



営業日と時間

	月	火	水	木	金	土	日	利用料金
9:30~	デイ	市委託	○	デイ	市委託	—	—	入会金 3,750円
12:00	—	—	—	—	—	—	—	月会費
13:30~	—	—	—	—	—	—	—	週3回以上 8,208円
17:00	○	○	デイ	○	○	—	—	週2回 5,400円
17:30~	—	—	—	—	○	—	—	週1回 3,024円
20:00	—	○	—	—	○	—	—	

※デイ=介護保険サービス 市委託=市から受けている委託事業 ○=会員制による実費サービス

休館日 土・日・祝・年末年始など または当センターが特別に定めた日

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階  
電話 0748-32-5540 ファックス 0748-32-5541